

## 心臓血管外科がおすすめする初期臨床研修プラン

心臓血管外科は心臓疾患（弁膜症、虚血性心疾患など）、大血管疾患（大動脈瘤、急性大動脈解離など）、末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤など）をあつかう専門的な診療科ですが、全身管理も重要な診療科です。そのため、初期臨床研修では、循環器系のみならず、消化器外科や麻酔科、集中治療科、救急科など幅広く学ぶことを推奨いたします。また、初期臨床研修期間に、外科専門医を取得するための、幅広い外科症例を経験する機会とするとよいかもしれません。

### 1. 研修病院の選択

#### A・B コース

大学病院と市中総合病院での、たすき掛け研修を推奨します。下記の病院は、本学心臓血管外科の教育関連施設であり、お勧めです。詳細は心臓血管外科学講座の指導医にお問い合わせください。

#### 心臓血管外科の教育関連施設

市立札幌病院	砂川市立病院	市立函館病院	函館五稜郭病院
北見赤十字病院	小樽市立病院		
北海道立北見病院	国立帯広病院	北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）	

### 2. 心臓血管外科医になるために研修が望ましい診療科

循環器内科：心疾患などの循環動態管理の基礎知識など取得可能です。

麻酔科：外科手術の麻酔管理を研修できます。

救急科：急性心筋梗塞、急性大動脈解離、重篤な危険な不整脈、PCPSなどの救急疾患を研修できます。

集中治療：術後の集中治療を研修できます。

消化器外科：外科専門医に必要な手術を経験できます。

呼吸器外科：外科専門医に必要な手術を経験できます。

### 3. コース選択

Aコース： 大学病院で基礎を固めて、連携施設で外科研修をする

**Bコース：**連携施設で基本を身に付け、大学病院で外科研修をする